

URL <http://www.royal-holdings.co.jp/>

平成20年12月期 第1四半期決算 前年同期比較資料

平成20年5月2日

ロイヤルホールディングス株式会社（証券コード:8179）

ROYAL

目 次

*Fine food is our business for
the people hospitality cleanliness*

ROYAL

	頁
ダイジェスト	3
《前年同期比較》	
* 平成20年12月期 第1四半期決算 連結業績	4
* セグメント別 売上高・営業利益	5
外食事業	6
食品事業	7
機内食事業	8
ホテル事業	9

・ 全体

- 売上高は増加したが、営業利益・経常利益・四半期純利益は減少
 - 外食・機内食・ホテル事業における外部売上高増加が連結売上高増加に貢献(+796百万円)
 - これらの3事業での営業利益の減少により連結営業利益は減少(▲ 820百万円)

【以下のセグメント前年同期比較では、外部売上高および営業利益についての説明を記載しております。】

・ 外食事業

- 前年実施したM&Aの効果があり増収(+757百万円)となったが、コスト上昇や業態変更に伴う費用の増加等があり減益(▲ 436百万円)
 - ロイヤルホスト事業は、減収(▲ 479百万円)、業務改善効果もあったが、改装費用増などもあり減益(▲ 235百万円)
 - M&A効果により増収(+1,307百万円)、のれん償却後は減益(▲ 45百万円)

・ 食品事業

- 前年実施した食品事業子会社の非連結化による影響で減収(▲ 448百万円)、生産性の向上により増益(+7百万円)
 - 上記非連結化の影響で、減収(▲ 578百万円)、減益(▲ 0百万円)
 - 既存の食品事業では外食チェーン向けの売上が伸張し(+130百万円)、生産性の向上もあり増益(+7百万円)

・ 機内食事業

- 関西国際空港における受注が伸張し増収(+43百万円)、コスト上昇の影響を受け減益(▲ 16百万円)

・ ホテル事業

- 既存店は堅調に推移し、前年以降開業したホテルが貢献し増収(+443百万円)、開業費用及び補修費用等が増加したことにより減益(▲ 339百万円)

売上高は増加したが、営業利益・経常利益・四半期純利益は減少

	平成20年 第1四半期	平成19年 第1四半期	前年同期比較
売上高	29,067	28,271	+ 796 (+ 2.8%)
営業利益	145	965	▲ 820 (▲ 84.9%)
経常利益	160	1,048	▲ 888 (▲ 84.7%)
四半期純利益	▲ 472	477	▲ 950 (—)

【百万円】

《参考値：売上高・経常利益推移》

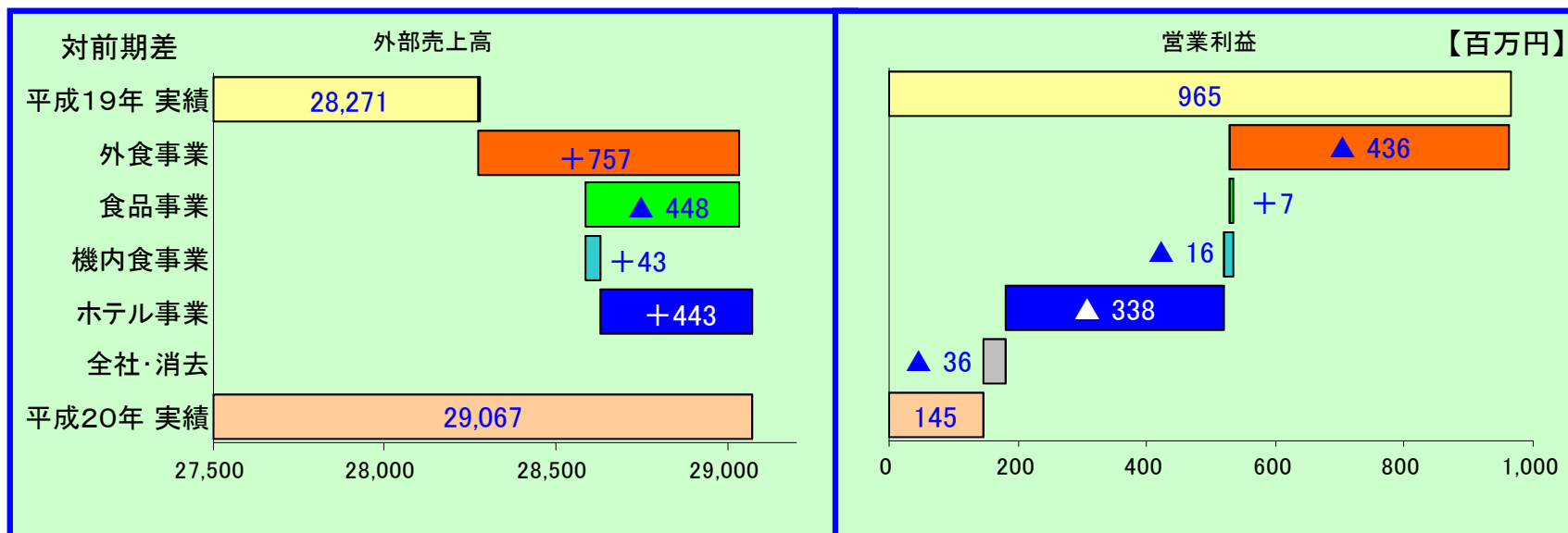
【百万円】

	平成16年 第1四半期	平成17年 第1四半期	平成18年 第1四半期	平成19年 第1四半期	平成20年 第1四半期
売上高	23,705	23,614	26,364	28,271	29,067
経常利益	1,131	954	863	1,048	160

外食・機内食・ホテル事業における外部売上高増加が連結売上高増加に貢献
これらの3事業での営業利益の減少により連結営業利益は減少

	平成20年第1四半期		平成19年第1四半期		前年同期比較	
	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益	外部売上高	営業利益
外食事業	24,359	95	23,602	531	+ 757	▲ 436
食品事業	804	59	1,252	52	▲ 448	+ 7
機内食事業	1,578	260	1,535	276	+ 43	▲ 16
ホテル事業	2,324	▲ 10	1,881	328	+ 443	▲ 338
全社・消去	—	▲ 259	—	▲ 223	—	▲ 36
合計	29,067	145	28,271	965	+ 796	▲ 820

【百万円】



前年実施したM&Aの効果があり増収(+757百万円)となったが、コスト上昇や業態変更に伴う費用の増加等があり減益(▲436百万円)

【外食事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年第1四半期	23,602	531	
M&A効果※	+ 1,307	▲ 45	のれん償却後
ロイヤルホスト事業	▲ 479	▲ 235	内訳は下記【ロイヤルホスト事業内訳】参照
その他の外食事業	▲ 71	▲ 144	一部の事業子会社で減収・減益
間接経費	—	▲ 12	新システム稼働費用など
平成20年第1四半期	24,359	95	

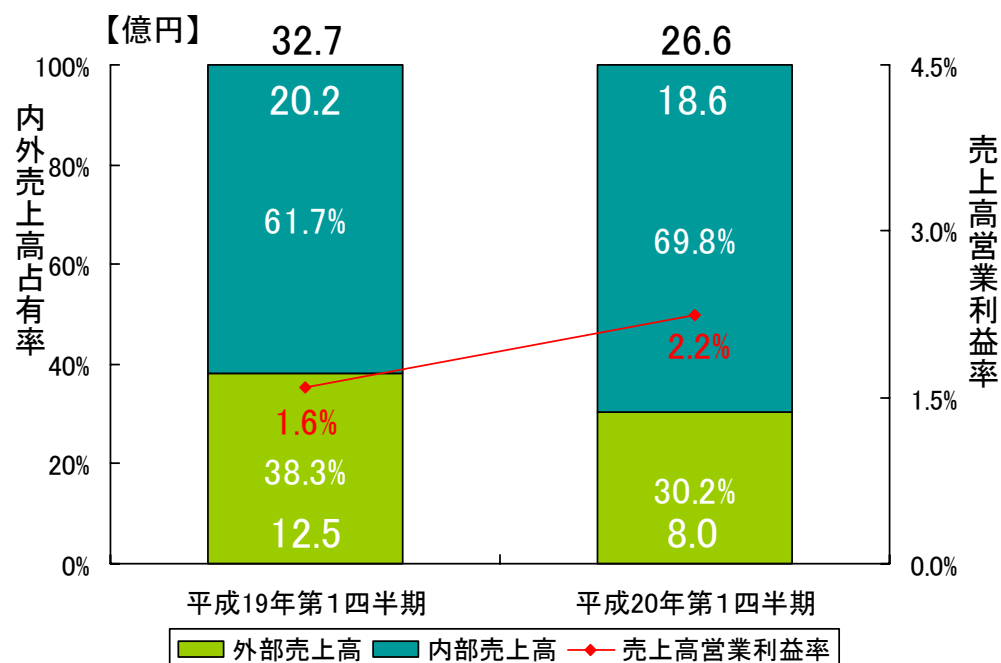
※セントレスタ株は、平成19年第2四半期より連結子会社となりました。

【ロイヤルホスト事業内訳】	外部売上高	営業利益
既存店減収及びその減益分	▲ 558	▲ 188
開閉店効果	+ 78	+ 15
集中購買等改善による購買費用削減	—	+ 51
人件費増	—	▲ 9
店舗経費増	—	▲ 54
その他	—	▲ 51
合計	▲ 479	▲ 235

前年実施した食品事業子会社の非連結化による影響で減収(▲ 448百万円)
生産性の向上により増益(+7百万円)

【食品事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年第1四半期	1,252	52	
連結範囲の変更	▲ 578	▲ 0	ロイヤル食品株※非連結化による
変動分	+ 130	+ 7	外食チェーン向け売上が伸張、生産性向上
平成20年第1四半期	804	59	

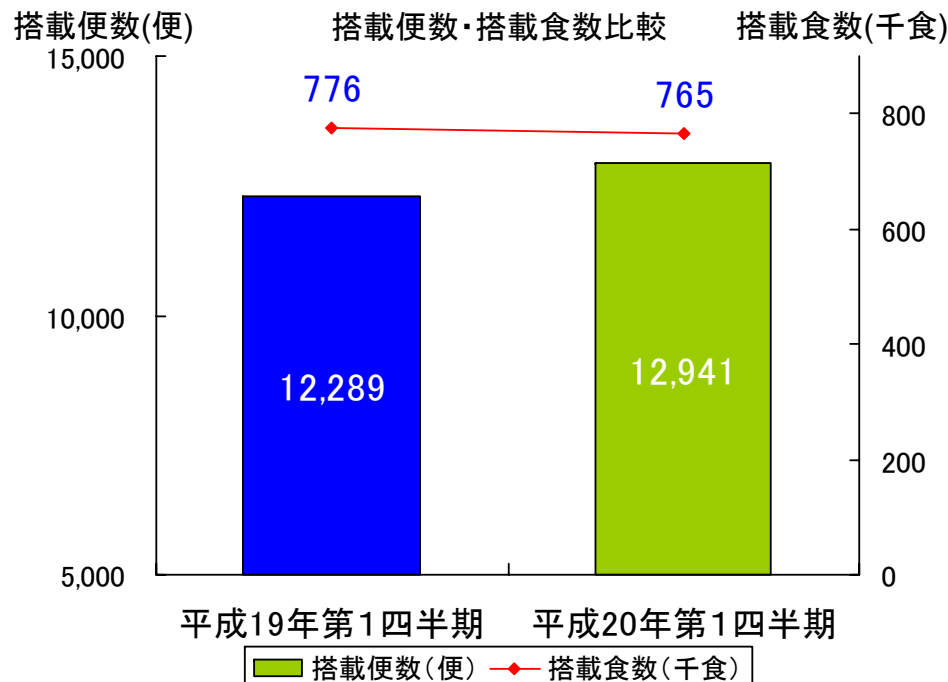
※ ロイヤル食品株は、平成19年第4四半期より持分法適用会社となりました。



関西国際空港における受注が伸張り増収(+43百万円)
コスト上昇の影響を受け減益(▲16百万円)

【機内食事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年第1四半期	1,535	276	
変動分	+ 43	▲ 16	主に外資系航空会社への搭載数増加による
平成20年第1四半期	1,578	260	

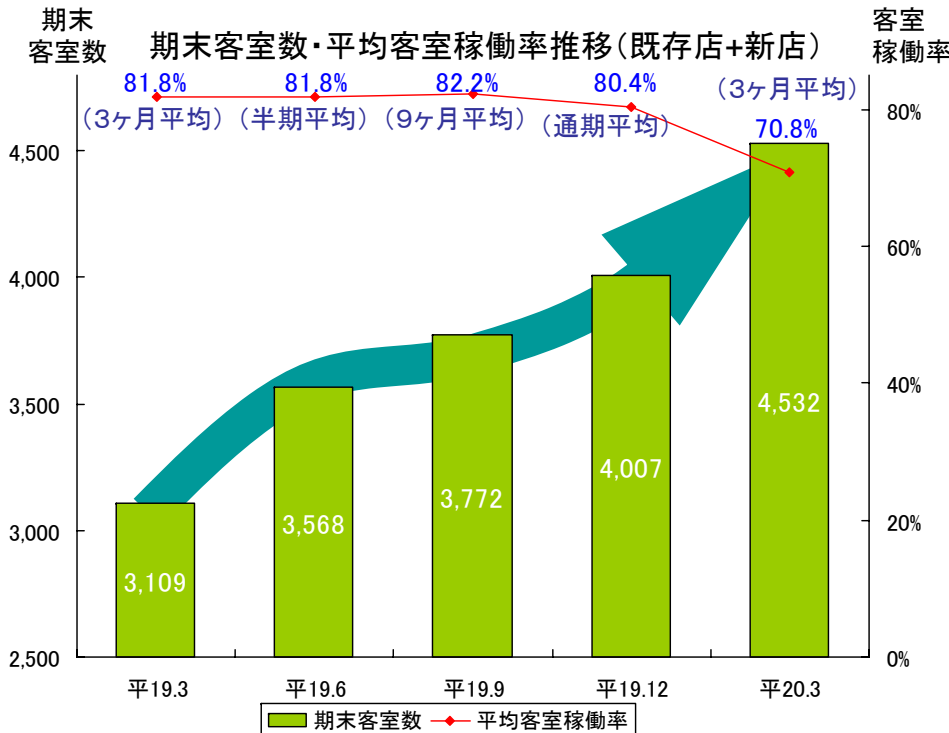
【百万円】



既存店は堅調に推移し、前年以降開業したホテルが貢献し増収（+443百万円）
開業費用及び補修費用等が増加したことにより減益（▲339百万円）

【ホテル事業】	外部売上高	営業利益	備考
平成19年第1四半期	1,881	328	
開店効果等	+ 466	▲ 194	前年後半以降の地方を中心とした新規開業 ※に伴う影響による
既存店増減分	▲ 23	▲ 144	内装のグレードアップなどの費用が増加
平成20年第1四半期	2,324	▲ 10	

【百万円】



※ 平成20年開業5店分の費用:218百万円

平成19年以降の開業実績

ホテル名	開店日	室数
リッチモンドホテル福岡天神	平成19年4月12日	250
リッチモンドホテル長崎思案橋	平成19年6月27日	209
リッチモンドホテル福島駅前	平成19年9月26日	204
リッチモンドホテル高知	平成19年10月4日	234
リッチモンドホテル山形駅前	平成20年1月8日	220
リッチモンドホテルプレミア武蔵小杉	平成20年3月24日	305

今後の開業予定:

リッチモンドホテル熊本新市街 (160室)	平成20年4月1日
リッチモンドホテル帯広駅前 (209室)	平成20年6月7日
リッチモンドホテルプレミア仙台駅前 (184室)	平成20年7月1日

注意事項

*Fine food is our business for
the people hospitality cleanliness*

ROYAL

1. 本資料に記載している売上高については、その他の営業収入を含めております。
2. 本資料に記載している営業利益、四半期純利益については、営業損失、四半期純損失の場合に▲で表示しております。

本資料に関する問い合わせ先：

ロイヤルホールディングス株式会社 財務部

電話：03-5707-8873 藤岡 / 鹿又(かのまた)